

# プログラム

10:00～10:05 開会の辞	学術集会実行委員長 許斐博史
10:05～11:00 基調パネルディスカッション 「新しい医療のパラダイムを日々の診療で実践する」	トータルライフクリニック本郷内科 馬淵茂樹 重症心身障害児施設 中川の郷 許斐博史 東京医科歯科大学 心身医療科 麻生佳津子 あおぞら診療所 前田浩利
11:00～12:15 セッションⅠ 〈トータルライフ医療による「四つの癒し」〉 座長 旭川赤十字病院 麻酔科 住田臣造	
①自己診断チャートを用いた育児不安への対応	佐久市立国保浅間総合病院 小児科 山崎敏生
②TL人間学に基づく医療が奏功したと思われる網膜静脈分枝閉塞症の1例	細木眼科 細木敬三
③対話診療が病勢の改善に有効であったループス腎炎の1例	トータルライフクリニック本郷内科 穴水聡一郎他
④担当医の意識の転換とともに不連続な改善が生じた難治性気管支喘息の1例	国立精神・神経センター国府台病院 内科 三島修一
⑤TL人間学に拠る医療者の意識の転換に伴い改善した境界型人格障害患者の1例	藤枝市立総合病院 心療内科 福島一成
12:15～13:00 セッションⅡ 〈トータルライフ看護の実践〉 座長 トータルライフクリニック本郷内科 岡登美子	
①TL人間学に拠る看護師の意識変革で改善をみたアルツハイマー型痴呆の1例	トータルライフクリニック本郷内科 江川恵子他
②医療者の意識の転換が痛み緩和の一因子となったと思われる1例	東邦鎌ヶ谷病院 和田ひとみ
③因縁果報に基づく看護周辺のサポート体制に関する問題解決の経験	名古屋掖済会病院 産婦人科 梅崎文子
13:00～14:00 昼 食	
14:00～15:25 特別講演「脱専門化医療」 座長 トータルライフ医療研究会代表 くまがい眼科 熊谷和久	札幌医科大学 地域医療総合医学講座 教授 山本和利
15:25～16:10 セッションⅢ 〈病気観のパラダイムシフト〉 座長 梅の辻クリニック 山田洋司	
①患者自身の内省が腫瘍マーカー値の減少に効果を及ぼしたと思われる乳癌の1例	山田記念病院 外科 村田 透
②“病は呼びかけ”と捉えることにより症状が安定し、職場復帰することができた適応障害の1例	城南病院 内科 松浦眞路
③新しい病気観に拠る小児科診療の試み——一般診療の壁を超えて改善した3例	あおぞら診療所 前田浩利他
16:10～16:55 セッションⅣ 〈「私が変わります」の実践に取り組んで〉 座長 琴似ロイヤル病院 内科 小番英裕	
①医療者の受発色転換により急速に改善した病院運営	今給黎総合病院 整形外科 古賀公明
②歯科診療を介した癒しの場をめざして	池田歯科医院 池田桃子
③“病は呼びかけ”を実践して体験したこと	今給黎総合病院 消化器内科 古賀哲也
16:55～17:00 閉会の辞	学術集会実行委員長 閉会の辞